

JIPAK・日本インテリアプランナー協会 関西 令和5年度定時代議員会概要報告

1. 令和5年5月20日午後・大阪産業創造館にてJIPAKの定時代議員会がZoom併用で開催されました。

(1) 開会の辞

神谷事務局長(司会)より代議員数49名のうち会場出席者 25名、Zoom出席者7名、委任状8名を報告。議決数の 2/3を超えていますので、本定時代議員会は定款第23条ならびに第24条の規定に基づき、有効に成立していることを報告、開会が宣言された。

(2) 議長、副議長、書記及び議事録署名人2名の選出

議長：児玉憲一、副議長：森本正道、書記：高野直樹、議事録署名人：横江喜美子、久保勇人

(3) 会長挨拶

コロナ禍から日常生活が戻りつつあり、会場で集まれたことは喜ばしい。オンライン会議によるJIPAK委員会の全国連携や事務局のテレワークなど今後も良いところは今後も取り入れたい。大阪万博、京都への文化庁移転など活動が増える期待もあるが、会員数の減少への対策も課題である。

(4) 議事

1) 第1号議案：令和4年度事業報告及び決算の承認

・令和4年度事業活動報告・令和4年度 決算報告・第1号議案に関する採決 賛成多数により承認

2) 第2号議案：令和5年度事業計画及び予算承認

・令和5年度事業方針・令和5年度 予算案の提示・第2号議案に関する採決 賛成多数により承認

(5) 報告事項

・加藤JIPA会長よりJIPA令和4年度活動報告及び令和5年度活動計画について説明

・小椋JIPAK会長より令和5年度一般社団法人日本インテリアプランナー協会の体制について説明。

(以上、議事録より)



(写真データは来海委員長提供)

2. 国際委員会の草木委員長の進行司会で同時開催・国際セミナーが開催されました。

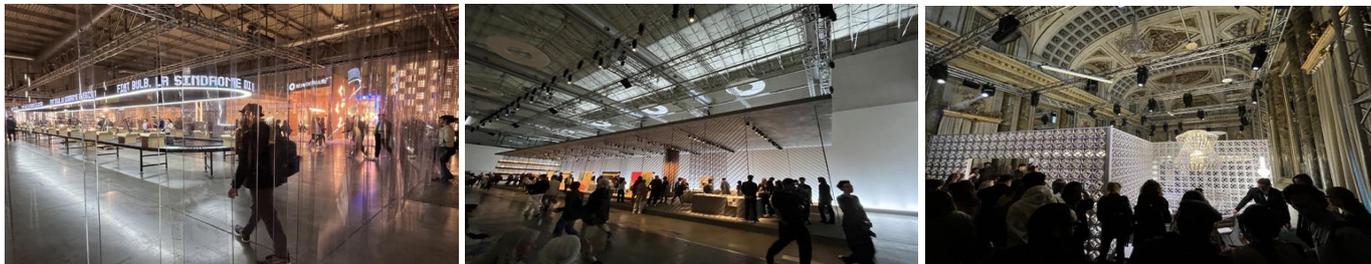
ミラノサローネ2023報告セミナー「Milano Salone 2023のトレンドを視る」

講師：(株)大彌リビング代表取締役社長・能口仁宏氏

コロナが漸く落ち着き、4年ぶりに4月開催された第61回ミラノサローネ。

約307,400人が来場、昨年9月の開催比15%増と賑わった。

見本市会場(フィエラ)では家具はもちろん2年ごとに開催される照明展(ユーロ・ルーチエ)ではFLOSやインゴマウラーなど見どころ満載であった。若手デザイナーのサローネサテリテは31カ国から550人が参加した。ミラノ市内での展示(フォーリサローネ)では宮殿での展示をおこなったルイ・ヴィトン(右上下)、競技場での展示を行ったエルメス(中上)などパトリシア・ウルキオラやフィリップ・スタルクなど人気デザイナーとのコラボ商品が際立った。2023年度のインテリア・トレンドを探るセミナーとなりました。





(国際交流委員会委員長・草木義博・写真・文記)

3 懇親会

産創館での令和5年度の定時代議員会(ZOOM 併用)を協議し、その後第二部のミラノサローネの報告が能口先生より写真を投影しながらの講演も聞いた後、懇親会の場を備後町1丁目まで4、5分参加者で中華料理の麒麟へと歩き移動致しました。来海委員長の司会進行で、女性3人+男性20人、計23人の第三部の懇親会が小槻会長の挨拶でスタートしました。コロナ禍でリアルに会う事のなかった方々、“やっと会えたネ”、“どう元気になってた?”、“いや歳行ってしまったなア”、とか皆の近況などを話し合いホントにリアルで会える事に有難いと実感しました。中華料理も次々と出て来て会話も楽し、料理も美味し、お酒も頂きながら自分の席から次々へと移動しての皆とのおしゃべり、楽しくあつという間の懇親会でした。最後に白井理事ならではの「打~ちまひよ」パンパン、「もひとつせ」パンパン、「祝オ~て三度」パパンパン、と大阪締めで本日の最後で、充実した一般社団法人インテリアプランナー協会 関西(JIPAK)の一日でした。皆様有難うございました。 記: 森本正道(事業交流委員会)



(写真データは来海委員長提供)

以上